

“あったらいいな”の子育て支援 パレット通信

～ パレット この10年の変化 ～

発行 NPO 法人ワークーズ・コレクティブパレット
発行責任者 山田範子
横浜市青葉区市ヶ尾町 1167-3 メゾンラフォーレ 105
TEL/FAX 045-975-2309
Email: palette2000@gaea.ocn.ne.jp
URL: http://www.palette2000.com
2013 年 10 月 1 日 発行



小さな一軒家からはじまった お互いさまの子育て

いつの時代も親は我が子を全力で育てようとしています。でも、初めての子育てに戸惑っています。子どもミニディサービスまーぶるの一時預かりの実績は、この10年間で驚異的に増えました。数だけでなく、半数以上がリフレッシュ・兄弟児の用事・通院・家事・看護・勉強など就労以外の理由での預かりだということは特記すべきことです。又、年間150件以上の「今日、今から預かってほしい」という緊急預かりや他機関からの要請に何としてでも応え養育者の支えになっています。そして、青葉区地域子育て支援拠点ラフォーレには、年間40,000人以上の来場者があり、

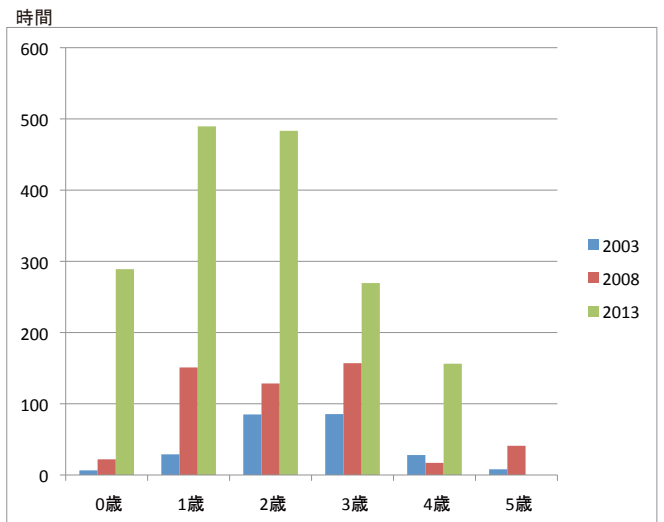
スタッフが寄り添い悩みを聞くことで、子育て家族の孤立感や不安を和らげています。パレットは、“預かり”と“広場”の双方から見えてくる子育て中の「あったらいいな」の声に応え、これからも青葉区の子育てとお子さんの育ちを応援していきます。



一時預かりが 6.5 倍に

まーぶる が生まれた 2000 年当時は「働いていないのに子どもを預けるなんて…」そんな風潮が今よりも強くあった時代です。でも子育てにも休憩は必要との思いから、専業主婦でも誰でも利用できる保育室を作りました。この10年で子育ての環境は大きく変わりました。幼稚園で2歳児クラス、延長保育ができ、一時預かりは市の事業になりました。そんな中、まーぶるで預るお子さんの年齢や時間にも大きな変化が現れています。グラフは10年前、5年前、今年それぞれ7月の一時預かり状況です。10年前と比べ総利用時間は6.5倍、0歳児の預りは1名から21名に増えました。一回の利用時間も平均6.2時間と2倍です。0歳児の預りのうち、半数は仕事のため利用されています。お母様は「働く事で私が救われる」とおっしゃいます。子育てもしたい、でも社会とも繋がってほしい、少しでも働く事でリフレッシュしたい、そんな親子が増えました。時代と共に、人と共にニーズが変わっていきます。

大きな声も、小さな声にも応えていける、そんな柔らかなまーぶるでありたいと思っています。



ずっと大事にしていきたい

びよびよ の前には公園があります。公園遊びや公園利用を介した地域の親子・地域の方との接点は、今のびよびよ利用目的のひとつにもなっています。びよびよの親子が公園で遊ぶことで、地域の親子が公園に集まってきました。周辺地域（人・場所）との積極的な交流は今後のキーワードです。しかし今現在びよびよでは、変化していくこと以上に、開設当初から変わらないびよびよならではの良さを再確認することに力を入れています。

①家庭の延長線上として「食べる」「寝る」「遊ぶ」ことが普通にできる広場・指導的なプログラムを避けた普段着感覚の広場づくり。②子育て当事者同士による相互支援。水平的な関係性の中で助け合える雰囲気づくり。③親子をサービスの受け手側にしない。

広場を利用しながらの協力や広場内での能動的過ごし方。広場維持協力金としての会費システム。これらは、広場を支えるかけがえのない一人になってもらうための仕組みであり、利用者から支援者になっていく循環をスムーズにしてきました。又、初めて来た親子に自然に声掛けし、遊んでいる子ども達を大人が自然に目配りし見守る『お互いさまの子育て支援』の実現にもつながり、今のびよびよの源になっています。今では、区内に沢山の支援活動が増えました。その分びよびよの広場利用者数は減りました。しかし、他の場所では自分らしい居場所が見つからず戻ってくる親子や広場を生活の一部としている親子の姿を見ていると、数だけでは表せない可視化しにくいニーズに呼応できる場所として大きな役割を感じます。



こどもミニディサービス まーぶる
障がいがあってもなくても、理由を問わずお預かりする保育室です。



パレット家庭の保育室 なないろ
認可保育園待機のお子さんをお預かりする、少人数で家庭的な保育室です。



横浜市補助事業 いかるぐ
放課後の子ども達の安心安全を守り、一人一人がホッとできる学童クラブです。

利用者さんに聞いてみました



親と子のつどいの広場
しえすた

Q1. よかったこと

親も子も友だちができた 情報交換できる
スタッフさんに相談や体験談が聞ける イベントに参加できる
お昼を食べたりお茶を飲める 誰か（大人）と話すと安心する
子どもを遊ばせながら、お茶を飲んでホッとできる 家庭的

Q2. 今後、こうなったらいいと思うこと

新しい人がたくさん増えるといい 仲間がふえるといい
あと1時間長く、16:00まであいているといい 今のままでいい
広くなったらいいかな…とも思うけど、このくらいがみんなで
一緒に過ごせていいのかなとも思う



パレット家庭的保育室
なないろ

Q1. よかったこと

個性や発達に合わせてくれる
広さや立地を良く工夫している
いろいろな所へ連れて行ってくれる
アットホーム 異年齢 少人数
日々の様子を毎日伝えてくれる
意見、希望を聞いてくれる 毎日お散歩
その場で手作りの給食がありがたい

Q2. 今後、こうなったらいいと思うこと

また保育参観をしてほしい（土曜日に）

区民まつり（11月3日 sun）

毎年パレットが青葉区の区民まつりに出店しているのには、二つの理由があります。

一つは、「青葉区の子育て家族」に向けてパレットの「保育」や「広場」の事業を知らせ、「子育て」で行き詰った時など行ける場所が身近にあることを知ってもらうため。もう一つは、毎年出店することで、育って行った子ども達と再会する日となり、その子の成長を関わったみんなで喜び合う日となっていることにあります。みんな、待ってるよー！

「子育てタクシー」 運行開始！

いよいよ9月から青葉区内でも「子育てタクシー」の運行が始まりました。

全国子育てタクシー
協会は、タクシー事業者と地域の子育て支援活動の法人が連携していることが特徴で、青葉区は神奈川県都市交通㈱と NPO 法人 W.Co. パレットが協力して取り組みます。



「子育てタクシー」とは、子ども・子育てに関する知識を学んだ専用のドライバーが、荷物の多い乳幼児を連れての外出のサポートをしたり、保育所や習い事への送迎を保護者の代わりに責任を持って行ったり、登録した妊婦さんの送迎などを行うサービスです。
去る9月7日（土）、神奈川県都市交通㈱青葉営業所にて子育て家族も参加して「子育てタクシー」出発式が執り行われました。

「子育てタクシー」の登録は、神奈川県都市交通（株）青葉営業所（045-978-0100）へ。
実際に「子育てタクシー」を利用してみたいのよかったこと・気になったことなどご意見はパレット（045-975-2309）までお知らせください。皆さんでより良い「子育てタクシー」にしていきたいと思います。

パレット会員になりませんか

パレットの趣旨に賛同して下さる方を募っております。

【正会員】入会金1万円 年会費2000円
【賛助会員】年会費一口1000円～
【寄付金】1000円～
【振込先】特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブパレット
ゆうちょ銀行口座 10210 93877691
横浜銀行 市ケ尾支店 普通 385-1435172



ワーカー・ボランティア募集中

私たちと一緒に活動するワーカー、パレットに力を貸していただけるボランティアさんを募集しております。
みんなの力で、青葉区を「子育てしやすいまち」にしていきたいと思います。



青葉区地域子育て支援拠点 ラフール
区に一区所の「子育て親子」と「支援者」の拠点です。



親と子のつどいの広場 ぴよぴよ
これからママ、パパになる方や子育て中の家族が、いつでも利用できる「ひろば」です。



親と子のつどいの広場 ぶーぶーしえすた
たまプラーザ駅近くにある親子のホッとできる場所。人のあたたかさを感じながらみんなで子育て！